

# 生命倫理学

教授 山野 克明  
Yamano Katsuaki

## 現在の研究テーマと内容

主にリハビリテーション専門職の臨床倫理に関する研究を進めています。  
現在下記のテーマについて研究を行っています。

1. インフォームド・コンセントにおける専門職の説明責任に関する研究
2. 専門職の自律性と独自性に関する研究
3. リハビリテーション医療の専門職が有するべき徳に関する研究

## これまでの研究成果と今後の展開

リハビリテーション専門職の中には理学療法士、作業療法士、言語聴覚士という3つの職種がありますが、それぞれがどのような独自性（専門性）を持っているかわかりにくいことが挙げられます。その独自性を明らかにしようと作業療法士を例にとって研究を進めてきた結果、作業療法士の独自性は明確な範囲として示されるのではなく、対象者のおかれた状況や組織の役割によってダイナミックに変化することがわかってきました（拙著『作業療法士の自律性と独自性』、權歌書房、2017）。今は「性格の卓越性」を意味する徳の観点から、専門職の独自性を明らかにしようと研究を続けています。

私は作業療法士ですので、これまでは作業療法士の視点から臨床倫理を考えてきました。しかし、チーム医療の中で3つの職種とともに（そして、3つの職種以外の専門職も）同じような倫理的問題で悩んでいる人が多くいることを知りました。これからの臨床現場における倫理的問題には、職種を超えて考えるべきことがたくさんあると思います。

## 大学院を目指すみなさんへメッセージ

医療や介護の現場にはたくさんの倫理的問題が潜んでおり、悩むことが多々あると思います。それでも悩むだけでは何も行動できません。しっかりと向き合い、進むべき道を見いださないとけません。

倫理的問題を解決に導くためには、なぜ、それが良い（正しい）と考えるのか、その考えを皆が良い（正しい）と受けとめてくれるのか、それなりの論理的思考が求められます。大学院ではそのような臨床倫理にまつわる問題について、徹底的に議論しながら自らの考えを磨いて行きます。

2年間の院生生活は相当にハードです。しかし、大学院にはここでしか自得できないこと（識見、思考、文章力、語学力、人との出会い etc..）がたくさんあります。大学院は自分自身を進化させる絶好の場所だと思っています。